

ホームページ掲載内容

同意の取得について：

今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。以下、研究の概要を記載しておりますので、本研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないしてほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名：

脾弯曲部癌に対するリンパ節転移頻度と手術方法に関する後方視的検討

研究責任者：下部消化管外科 本庄薫平

研究分担者：下部消化管外科 坂本一博

研究の意義と目的：

日本人の死因の第1位は悪性新生物であり、患者数は今後も増加していくことが予想されます。大腸癌に対する手術は癌の部分だけを切除すればよいのではなく、癌の場所に依じて癌を栄養していると思われる血管を処理することで周囲のリンパ節を含む組織と一緒に切除することが必要です。現在のわが国の

ガイドラインでは脾弯曲部^{ひわんきよくぶ}の癌に栄養する血管は主に2本（中結腸動脈・左結腸動脈）とされていますが、頻度はやや低いながらも、もう1本（副中結腸動脈）栄養している血管が存在している可能性が示唆されます。

本研究は、あなたのカルテから得られた臨床情報と手術の所見から得られた臨床情報を用いて脾弯曲部の癌に対する栄養血管とリンパ節の転移頻度を明らかにすることを目的とします。なお、本研究のために新たに患者さんから検体を採取したり、投薬したりすることはありません。この調査はあくまで臨床情報を収集するのみです。

観察研究の方法と対象：

本研究の対象となる患者さんは、大腸癌の方で、西暦2007年1月1日から西暦2021年12月31日の間に大腸肛門外科で大腸癌に対する手術を受けた方です。

研究に用いる試料・情報の種類：（記載例）

研究対象者基本情報：カルテ番号、年齢、性別、身長、体重、併発症の有無、既往歴、診断名

検査内容：採血（血算、生化学、凝固・線溶系、腫瘍マーカー）、画像検査（レントゲン、CT）

手術に関する内容：腫瘍の局在、術式、手術時間、出血量、癒着防止剤使用の有無、麻酔記録、病理学的因子

手術入院時の内容（術後の経過や合併症、あるいは合併症の治療内容）

退院後の内容（再発の有無）

研究解析期間：承認日 ～ 西暦 2026 年 3 月 31 日

研究対象者の保護：

本研究に関係するすべての研究者は、ヘルシンキ宣言（2013 年 10 月 WMA フォルタレザ総会[ブラジル]で修正版）及び人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2017 年 2 月 28 日一部改正）に従って本研究を実施します。

個人情報の保護：

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる情報は含みません。

利益相反について：

本研究は、大腸肛門外科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画し実施するものです。従いまして、研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。なお、本研究の責任者および分担者は、順天堂医院医学系研究利益相反マネジメント委員会に必要事項を申告し、その審査を受けております。

お問い合わせ先：

本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障が無い範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができますので申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることは有りません。

順天堂大学医学部附属順天堂医院 下部消化管外科

電話：03-3813-3111

研究担当者：本庄 薫平